

先駆けを!

学校報

望洋

夢の実現におけて!

東海大学付属望洋高等学校  
編集:メディアセンター  
2015年8月1日 第116号

## 2015年度 前期 ダイジェスト

### 第30回入学式 4月5日(土)

### ~新入生323名を迎えて~



4月5日(土)、2015年度 第30回 入学式を本校松前記念講堂にて挙りました。当日は女子88名、男子235名、合わせて323名の新入生が新たに本校の門をくぐり、在校生、保護者、来賓、教職員からの祝福を受けました。



#### 入学しての抱負

#### 宣誓者 1年8組 石井 花霞

私は、陸上競技部での活動と学習の両立を図って行きたいと思います。陸上競技の練習はほぼ毎日ありますが、勉強も毎日するようにします。そのために、時間を有効に使い、効率の良い学習法を身につけようと思います。私は英語と国語が苦手なので、これを克服するよう頑張ります。また、将来の職業は決めていませんが、医療関係の仕事に就きたいと思っているので、理科の学習にも力を入れようと思います。高校生活は、中学校の3年間よりも充実したものになると感じているので、様々なことに挑戦をして、陸上競技でも好成績、学習でも好成績を目指して行きたいと思います。

### 望洋研修を実施

### 1年生



4月22日(水)~24日(金)の日程で、2015年度 望洋研修を実施しました。この研修は1年生を対象に、宿泊研修を通して本校生徒としての自覚を促し、学校生活のあり方を考えると共に、集団生活の中から規律を守ることや、協調性の大切さを学びます。また、スポーツ活動などを通じてクラスの相互理解と親睦を図り、リーダーシップ精神を養って、今後の高校生活に生かします。その他、グループ討議を展開し、生徒個々の考察を深めました。



#### 望洋研修を通して学んだこと

#### 1年2組 石井 涼音

私が望洋研修で学んだことは3つあります。1つ目は何事も自ら進んで行動し、自分のことは自分ですることの大切さです。この大切さを知ることで、高校生としての自覚をもつことができました。2つ目は仲間と協力することの大切さです。高校生活が始まって間もない中で、グループ討議や長縄跳びなどの活動を通して、クラスの絆が深まったと思います。3つ目は、場に応じた行動をすることの大切さです。時や場に応じて姿勢を正し、適切な行動をとることの重要性を改めて学びました。今回の研修の中で多くの貴重な体験をし、私自身も成長することができたと思います。望洋生としての自覚を新たにしたり、充実した研修でした。

## 校外学習を実施

2・3年生

4月22日(水)、校外学習を実施しました。新年度を迎え、新たなクラス編成となった生徒たちが、クラス親睦を兼ねて東京(3年生)、鎌倉(2年生)を訪ねました。当日はそれぞれの学年の集合場所に集まり、各グループに分かれて散策を行いました。

### 3学年 校外学習「江戸・東京」

校外学習に参加して

3年7組 葛 紘一郎



校外学習に参加して、私は東京の様々な姿を改めて感じました。江戸東京博物館や寺社などでは、展示物や建造物を間近で見ることができ、東京の歴史ある文化に触れることができました。また、見学先までの移動時には東京の街並みを肌と感じ、華やかな現代の東京を満喫することができました。今回の校外学習に参加する前には、高層ビルが立ち並ぶ、都市化が進んだ現代的な東京のイメージしかありませんでした。しかし、校外学習を通して東京の街を散策すると、その他にも東京には様々な顔があることに気づき、東京のイメージが刷新されました。古い街並みと新しい街並みが入り交じる東京。とても有意義な時を過ごすことができたとと思います。

### 2学年 校外学習「鎌倉」

校外学習に参加して

2年9組 遠藤 寿紀

今回の鎌倉散策は、私にとってとても新鮮な体験でした。普段は机上で歴史の授業を受けていますが、実際に歴史を五感で受け止めることによって活字では伝わらない現地の空気、歴史の重みを感じることができました。また、馴れ親しんだ仲間たちと共に散策することで、自分とは違った他者の感じ方を知ることができ、互いに親睦を深めることもできました。総合進学コースの皆さんは新たなクラスの仲間と、スーパー特進コースの私たちは同じ仲間たちと改めて親交を深めることができました。今回の散策で培った強い絆を確かなものにして、そしてそれを大切に、今後も助け合い、一人ひとりの心に残る思い出をたくさん残して行けたらと思います。



## 高校現代文明論 授業開始

1年生



4月14日(火)の校長講話、「東海大学建学の精神」を皮切りに、2015年度の高校現代文明論が始まりました。高校現代文明論は、自らに「人生如何に生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培うことを目的とした学園共通の必修科目で、1年生を対象に開講されています。第1回は、黒坂道生校長が担当。学園発行のテキスト「明日へのメッセージ」を用いて、東海大学の創設者 松前重義博士の生い立ち、東海大学創設の経緯と建学の精神、また、「建学の歌」や「校歌」、「校旗」や「校章」の意味などについて講話を行いました。第2回、第3回は研究主任の加藤崇が担当。高校現代文明論を学ぶ意義や、あるべき教育・学習の姿について講話を行います。第4回目以降は各クラスの担任が担当。学園共通のテキスト『新編 高校現代文明論』(東海大学出版会)に基づくワークシートを用いた学習を経て、「現代文明の諸問題を考える」をテーマとしたアクティブラーニングへと進みます。特に今年度は、この「現代文明の諸問題を考える」のまとめとしてディベートを採用。また、従来の「知的財産教育」に加えて「オリンピック教育」も実施。今まで以上に充実した内容を展開していきます。



## 後援会定期総会・進路説明会・クラス懇談会を開催

4月25日(土)、2015年度の本校後援会定期総会、進路説明会(1・2年生保護者対象)、保護者講演会(1年生保護者対象)、並びにクラス懇談会(全学年保護者対象)を開催しました。総会では会長挨拶・校長挨拶の後、2014年度の会務報告と決算報告がなされ、2015年度の役員候補、会務計画案及び予算案が提示され、承認されました。また、当日は齊藤政道教頭による2014年度「学校評価」結果報告や夏季海外英語研修の案内、さらに本校のスクールカウンセラーを務める星野伸明氏による講演会「親子のかかわり方」も開催され、充実した1日となりました。





## 第30回 体育祭



5月29日(金)、6月2日(火)の両日に渡り、第30回 体育祭を開催しました。5月29日は朝から曇り空。午後から雨との予報が出ていましたが、午前中早くから霧雨が降り、風も出てきて、プログラムNo6、1年生による障害物競走の頃には雨脚がさらに速まって、競技の続行が難しくなりました。そこで、この競技の終了と共に中断を決意。昨年と同様、残りの競技を後日先送りとしました。

雨天の際の予備日としていた6月2日(火)、競技を再開しました。準備運動の後、タイヤ渡し、台風の目、W棒ル、キャタピラレースと進め、総合進学コース3年生による綱引きで午前の部を終了。午後

は各学年でクラス対抗リレーを実施して、全種目の競技を終えました。どの競技も白熱したものとなりましたが、特に高校生活最後の体育祭となった3年生の綱引きやリレーは、見ごたえがありました。上の写真は、学年総合優勝を果たした3年7組の勇姿です。爽やかな笑顔で、輝いています。



### 総合進学コース

#### 3学年 優勝

#### 3年7組 小林 康祐

最高学年となり、新しいクラスで迎えた体育祭。またそれは、高校最後の体育祭でもありました。どのクラスも優勝を目指して頑張っていたと思います。その中で7組は、他のクラスよりも一人ひとりの実力が劣っていました。優勝を考えていなかった人もいたと思います。しかし、練習を重ねていく中で、体育祭実行委員や陸上部員たちが中心となり、徐々にまとまっていきました。予行の時にはクラス全員の心が一つになっていました。当日は緊張している人が多くて心配でしたが、棒引きで1位を取ってから盛り上がり、最後まで全力を尽くして優勝することができました。高校最後の体育祭で、最高の思い出を作ることができました。

#### 2学年 優勝

#### 2年6組 金井 奈織美

6組は体育祭前の体育の授業が一番少ないクラスでした。増脚リレーでは息が合わず、練習段階では最悪でした。そこで朝練をすることにしました。朝練を始めると、どのクラスよりも出席率が高くなり、必死に取り組むようになりました。体育祭当日の朝、黒板にクラス全員の名前と先生からのメッセージがありました。「君たちは強い」。この言葉の下42人の生徒と先生が一つになりました。そして大玉転がし・二人三脚・増脚リレーで3冠を達成。心が一つになるというのは、無理にそうするというのではなく、一人ひとりの気持ちの問題なんだ…。担任1年目の石山先生に優勝カップをプレゼントできました。とても嬉しく感じました。

#### 1学年 優勝

#### 1年2組 野澤 彩華

今回の体育祭で優勝できたのは、何よりも皆の団結力があつたからだと思います。この体育祭で得たものは優勝という結果よりも、むしろクラスの団結力だと思いました。入場行進では一致団結し、運動部員が中心になって全員で声を出しました。各競技では、練習の時の失敗を繰り返さないよう頑張りました。しかし、長縄跳びでは気の緩みから納得のいく結果を残すことができませんでした。今回の体育祭では、良かった点も反省すべき点も見つかりました。良かった点は今以上に伸ばし、反省すべき点は改善して、これからの学校生活に繋げていきたいと思っています。そして、今回得た団結力をさらに強めていきたいと思っています。

### スーパー特進コース

#### 優勝

#### 2年9組 渡邊 花奈

新しいクラスメイト4人が加わって始まった2年9組。今年は特進対抗という今までにない対戦形式となり、戸惑いもありました。他の2年生クラスと戦いたい…。こんな思いもあって、練習段階では思うような結果を出せずにいました。クラス対抗リレーの練習では、総合進学コースのクラスと半周差がついてしまうこともありましたが、クラスの陸上部員がアドバイスをしてくれ、私たちのペースで着実にタイムを縮めていくことができました。他の競技でも結果を出せるようになりました。体育祭当日はクラス皆の心が一つになり、優勝することができました。一つひとつの競技で盛り上がり、良い思い出ができました。

## 東海大学関係学部説明会を開催



6月6日(土)、東海大学関係学部説明会を開催しました。これは、学校法人東海大学が運営する大学・短期大学の教員を招き、保護者の皆様に大学の全体像を把握していただくと同時に、各学部の特徴や教育内容等についてご理解いただくために毎年開催する行事です。当日は保護者の中に生徒も混じり、熱心に聴く姿が見受けられました。



## 第12回 サマーコンサートを開催

## 吹奏楽部



6月21日(日)、松前記念講堂で吹奏楽部 第12回 サマーコンサートを開催しました。当日は今年度の全日本吹奏楽コンクールの課題曲である田坂直樹作曲「マーチ『プロヴァンスの風』」を皮切りに、全7作品を熱演。第2部では、市原市立国分寺台中学校・市原市立ちはら台南中学校の吹奏楽部による演奏も披露されました。また、第3部では「ヒットステージ 2015!」に続いて吹奏楽部卒業生との共演を展開。本校卒業生でプロの打楽器奏者でもある塩谷亜弓さんと繰り広げた「ソロパークッションと吹奏楽の為の協奏曲」(ケーリー・ジーク 作)が終わると、会場からは大きな拍手が寄せられました。アンコール曲は「宝島」(真島俊夫 作)。コンサートは盛況のうちに閉じられました。

### サマーコンサートを終えて

### 吹奏楽部 creative leader 3年3組 桑原 和奏

望洋高校吹奏楽部 第12回 サマーコンサートに、沢山のお客様のご来場をいただきました。本当にありがとうございました。今年度の4月、私たち吹奏楽部には新しい風が吹きました。新しい顧問として湯川千鶴子先生を迎え、14人の1年生が入部してくれました。新しい風は私たちにとってつらい向かい風ではありません。「上昇気流」です。サマーコンサートの第1部で演奏した「マーチ『プロヴァンスの風』」と「ヘラクレスの塔」の2曲は、今夏の吹奏楽コンクールで演奏する曲です。今年こそ千葉県コンクールで金賞を取り、東関東吹奏楽コンクール、そして、全日本吹奏楽コンクールに進みたいと思います。そのために、部員52名全員が、本気で「上昇気流」に乗り、頑張っていきます。ご声援をよろしくお願いします。

## 芸術鑑賞会（高校生のための歌舞伎鑑賞教室）を実施

## 1年生



6月19日(金)、1年生を対象にした芸術鑑賞会を実施しました。当日は国立劇場に集合し、6月 歌舞伎鑑賞教室を鑑賞しました。ほとんどの生徒が歌舞伎を観るのは初めて。坂東亀寿による解説「歌舞伎のみかた」で歌舞伎の基礎知識を得た上で、「壺坂霊験記」(一幕 三場)を鑑賞しました。特に、今回の「歌舞伎のみかた」では、2名の本校生徒が登壇し、女形の衣装を着て歌舞伎の所作を学びました。その効果もあってか、「全然眠くならなかった。」「最後まで面白かった。」「歌舞伎を身近に感じることができた。」など、歌舞伎の世界に一步近づいたような発言を聞くことができました。

### 芸術鑑賞会に参加して

### 1年6組 棚島優奈

今回の芸術鑑賞会を通して、歌舞伎に関する多くのことを学ぶことができました。今回鑑賞した「壺坂霊験記」は、目が見えない夫のために、妻が毎日神社にお参り等を続けた結果、神様が夫の目を見えるようにしたという、現実では考えられないような世界を描いていました。このような話は、演じるにあたって想像力が必要だと思います。想像力を働かせることによって、演じている役の心情の変化を意識しながら演技をするので、役者の表情が豊かになり、観客の意識を舞台に向けることができるのだと思います。そのように演じている姿を見て、私はとても感動しました。私も将来、想像力を活かした演技のできる役者を目指したいと思いました。